

4. 各報告書の詳細

分析結果報告書確認表示用の画面はA4用紙印刷を考慮し、小さめにレイアウトされています。

入力方法の共通的な部分は、前記の表3-4.1「各分析結果報告書の共通事項」として、「分析担当者」、「分析担当者の経験年数」、「分析担当者の実績(年間の分析試料数)」、「分析(主)担当者以外の分析結果の確認」の入力方法を示しています。

また、以下に共通的な事項(注意点等)を示します。

分析経験等

分析経験については、分析担当者による分析経験について、該当するものを選択してください。

分析条件等

適用している分析方法や分析機器等によっては、記入が不要な部分、記入が難しい部分等があると考えられますので、そのような場合には記入する必要はありません。

複数回測定(併行測定)では、1回目の分析条件を記入します。ただし、試料の指示値(吸光度等)等については、測定回数分を記入する場合があります。

指示値

指示値としては、吸光度、ピーク高さ、ピーク面積等があり、内標準法ではその比(例えばピーク面積比)もあり、またそれらの比例値もあり、このように各種のものがあります。記入にあたっては、いずれの値も可能です。

ただし、指示値の記入欄には、検量線の最高濃度、試料、空試験の3つ(3か所)あり、記入にあたっては3か所とも同じ種類(単位)のものとしてください。

分析結果(数値の丸め方)

分析結果については、有効数字3桁(ダイオキシン類は2桁)としています。数値の丸め方はJIS Z 8401に従ってください。

分析結果は必須項目です。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件でエラーメッセージ(例えば、「分析結果・・・の検出下限値以上または検出下限値未満での検出下限値のいずれかは必須項目です。該当する値を入力して下さい。))が表示され、確定できませんので、ご注意ください(前記3-9参照)。

分析方法

分析方法も必須項目です。選択されていないとエラーメッセージが表示され、確定できませんので、ご注意ください(前記3-9参照)。

報告書の確定

ホームページでは期限内に報告書の確定を必ず行ってください(「報告書一覧表」から確定したい「報告書」を選択して、「報告書確定」をクリックしてください)。「報告書確定解除」を行った場合も、修正等の後には必ず「報告書確定」を行ってください。詳細は、前記3-8を参照ください。

アンケート

ホームページから分析結果報告書を作成する機関を対象とした「ホームページによる分析結果報告書の作成方法に関するアンケート」及び調査参加機関を対象とした「環境測定

分析統一精度管理調査に関するアンケート」を実施しますので、ご協力をお願いいたします。アンケートの記入方法は、後記4 - 8に示しています。

4 - 1 分析結果報告書 [1]

廃棄物（ばいじん）試料に関する分析結果報告書 [1] の入力方法の詳細を記します。

表4-1 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：鉛）（分析結果報告書 [1] ）

表4-1(1)分析結果

分析結果	実施要領5(2)の分析結果の表示方法に従って、検液（溶出液）1Lあたりの鉛（Pb）のmgとして記入(単位：mg/L)。数値(半角)入力。「分析を実施した」場合には、「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。測定回数3回の結果を記入。
・分析結果(検出下限値以上)(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。

表4-1(2)検液（溶出液）の作成

分析結果報告書の名称は、分析結果報告書[1 ~ 4]（共通）となっています。

（3回の併行測定のために下記は1～3回で概略同様であり、1回目を記入する。）

< 試料の保存状況 >		
保存方法		コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
保存時間	注1)	数値(半角)入力。単位：時間。(例えば、60分では1時間、4日では96時間とする)
保存温度		数値(半角)入力。単位：。
< 溶出操作等 >		
検液の作成開始月日		コンボボックスより選択。
検液の作成終了月日		コンボボックスより選択。
< 試料液の調製 >		
容器	種類	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	容量	数値(半角)入力。単位：mL。
試料(ばいじん)	量	数値(半角)入力。単位：g。
溶媒(水)	種類	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	量	数値(半角)入力。単位：mL。

< 試料液の調製 > 試料液の調製から溶出操作（振とう）までの放置時間		数値（半角）入力。単位：時間。試料液の調製後直ちに振とうした場合には0（ゼロ）時間とする。30分では0.5時間とする。
< 溶出操作 > 容器 置き方 振とう方向 気温 気圧 振とう機 振とう回数 振とう幅 振とう時間		コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位： 。 数値(半角)入力。単位：気圧。 数値(半角)入力。単位：回/分。 数値(半角)入力。単位：cm。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。
< 検液の（溶出試験）の作成後 > 振とう終了からろ過（又は遠心分離）までの放置時間		数値（半角）入力。単位：時間。
< ろ過操作 > 遠心分離 実施の有無 回転 ろ過 回転時間 実施の有無 ろ紙 種類 材質 孔径 メーカー 型式 方法 作成したろ液（溶出液）量		コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に数値（半角）記入。1. の単位：G。2 . の単位：回/分及びmm。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。
< 検液の（溶出試験）の作成後 > 溶出液作成から検定（各項目の分析）までの時間 鉛 六価クロム 銅 亜鉛 溶出液の保存状況 保存処理 保存状況 保存温度		数値（半角）入力。単位：時間。 溶出液作成後直ちに分析に必要な量をはかり取った場合には、0（ゼロ）時間とする。分析項目ごとに概略の時間を記入する コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 コンボボックスより選択。（ ）は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位： 。

表4-1(3) 検定の方法（各項目の分析方法）

（3回の併行測定のために下記は1～3回で概略同様であり、1回目を記入する。ただし、試料の指示値（吸光度、ピーク高さ等）については、3回分を記入する。）

< 分析開始日等 > 分析開始月日 分析終了月日		コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。
--------------------------------	--	------------------------------

<p>< 分析方法等 > 分析方法 使用した水</p>	<p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p>
<p>< 前処理 > 容試料 (溶出液) 量 準備操作 (前処理) 前処理後の溶液 (定容量) 量</p>	<p>数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。</p>
<p>< 溶媒抽出等 > 準備操作 (溶媒抽出等) 前処理後の溶液の分取量 (溶媒抽出) 溶媒の種類 プレートの種類 抽出回数 溶媒の使用量 (交換樹脂カラム) 種類 (プレート樹脂を用いた固相抽出) 樹脂 種類 1 種類 2 メーカー 型式 試料液のpH調節 試料液の流下 方法 流速 溶出 種類 濃度 量 回数 最終の定容量 最終溶液 (試験溶液) の液性</p>	<p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：回。 数値(半角)入力。単位：mL/回。 具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 具体的に記入。 具体的に記入。 数値(半角)入力。 コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：mL/分。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mol/mL。 数値(半角)入力。単位：mL/回。 数値(半角)入力。単位：回。 数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p>
<p>< 原子吸光法 > 試験溶液の希釈 希釈倍率 電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 モリブデンの添加 原子吸光分析装置 バックグラウンド補正 フレーム 測定波長</p>	<p>数値(半角)入力。希釈しない場合は「1」。 数値(半角)入力。単位：μL。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：nm。</p>

<p>< ICP 発光分光分析法 > 試験溶液の希釈 希釈倍率 ICP 発光分光分析装置 発光部 (光観測方式) 分光部 検出部 バックグラウンド補正 超音波ネブライザーの使用 測定時間 測定波長</p>	<p>数値(半角)入力。希釈しない場合は「1」。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。() コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：時間。 数値(半角)入力。単位：nm。</p>
<p>< ICP質量分析法 > 試験溶液の希釈 希釈倍率 ICP質量分析計 メーカー・型式 スペクトル干渉の低減又は補正 質量分析計 コリジョン・リアクションセル 水素化物発生 補正式による補正 その他 超音波ネブライザーの使用 積分時間 (質量数毎) 質量数</p>	<p>数値(半角)入力。希釈しない場合は「1」。 具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 補正式による補正を行った場合には、補正前と補正後の指示値について「イオンカウント値」等、数値(半角)入力。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「2. 行う」を選択した場合には、コンボボックスより選択。「行う」を選んだ場合には、具体的に記入。 コンボボックスより選択。 数値(半角)入力。単位：秒。 数値(半角)入力。</p>
<p>< 検量線の作成等 > 定量方法 方法 内標準法：内標準物質の種類 検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値 試料の指示値 空試験の指示値 検出下限値</p>	<p>コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。整数。 数値(半角)入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/L)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 数値(半角)入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。3回分を記入。 数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 数値(半角)入力。単位：mg/L。</p>
<p>分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点</p>	<p>150文字以内で簡潔に記入する。</p>
<p>計算式</p>	<p>150文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。</p>

4 - 2 分析結果報告書 [2]

廃棄物（ばいじん）試料に関する分析結果報告書 [2] の入力方法の詳細を記します。

表4-2 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：六価クロム）（分析結果報告書 [2] ）

表4-2(1)分析結果

表 4-1(1)分析結果（鉛）を参考に記入する。

表4-2(2) 検液（溶出液）の作成

表 4-1(2) 検液（溶出液）の作成（鉛）を参考に記入する。

表4-2(3) 検定の方法（各項目の分析方法）

< 分析開始日等 > 分析開始月日 分析終了月日	コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。
< 分析方法等 > 分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
< 六価クロムの分離操作 > 試料（溶出液）量 クロム（ ）の共沈除去方法 ろ過 実施の有無 沈殿の洗浄 試験溶液の定容量 六価クロムの分離操作後の液性	数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
< 前処理等（吸光光度法（流れ分析法を含む）以外の方法） > 試料（試験溶液）量 準備操作（前処理） 最終溶液（前処理後の溶液）の定容量	数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。
< 溶媒抽出 >	分析結果報告書 [1] の < 溶媒抽出等 > を参照にして記入する。
< 原子吸光法 >	分析結果報告書 [1] の < 原子吸光法 > を参照にして記入する。
< ICP 発光分光分析法 >	分析結果報告書 [1] の < ICP発光分光分析法 > を参照にして記入する。
< ICP 質量分析法 >	分析結果報告書 [1] の < ICP質量分析法 > を参照にして記入する。

< 吸光光度法 > 試料（溶出液）の分取量 pH 調製 発色 硫酸(1+9)添加 ジフェニルカルバジド 溶液添加 冷却 温度 時間 定容量 対照液調製の有無 調製方法 妨害成分の対処方法 吸収セルの光路長 測定波長	< 吸光光度法 > 数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：mL。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 150文字以内で簡潔に記入する。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：nm。
< 流れ分析法 > 測定方法 測定装置 メーカー 型式 繰り返し性の確認	< 流れ分析法 > コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 具体的に記入。 具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：回（繰返し回数）、%（繰返し性）。
< 検量線の作成等 >	分析結果報告書[1]の< 検量線の作成等 >を参照にして記入する。
分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。

4 - 3 分析結果報告書 [3]

廃棄物（ばいじん）試料に関する分析結果報告書 [3] の入力方法の詳細を記します。

表4-3 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：銅）（分析結果報告書 [3] ）

表4-3(1)分析結果

表 4-1(1)分析結果（鉛）を参考に記入する。

表4-3(2) 検液（溶出液）の作成

表 4-1(2) 検液（溶出液）の作成（鉛）を参考に記入する。

表4-3(3) 検定の方法（各項目の分析方法）

< 分析開始日等 >	分析結果報告書 [1] の< 分析開始日等 >を参照にして記入する。
< 分析方法等 >	分析結果報告書 [1] の< 分析方法等 >を参照にして記入する。
< 前処理 >	他の分析項目（鉛、亜鉛）と同様の操作を行っている場合は、同様の操作について記載している項目をコンボボックスより選択し、操作が異なる箇所のみ記載する。（同様の操作を行っている箇所については、記載を省略してもよい）。 分析結果報告書 [1] の< 前処理 >を参照にして記入する。

< 溶媒抽出等 >	他の分析項目（鉛、亜鉛）と同様の操作を行っている場合は、同様の操作について記載している項目をコンボボックスより選択し、操作が異なる箇所のみ記載する。（同様の操作を行っている箇所については、記載を省略してもよい）。 分析結果報告書 [1] の < 溶媒抽出等 > を参照にして記入する。
< 原子吸光法 >	他の分析項目（鉛、亜鉛）と同様の操作を行っている場合は、同様の操作について記載している項目をコンボボックスより選択し、操作が異なる箇所のみ記載する。（同様の操作を行っている箇所については、記載を省略してもよい）。 分析結果報告書 [1] の < 原子吸光法 > を参照にして記入する。
< ICP 発光分光分析法 >	他の分析項目（鉛、亜鉛）と同様の操作を行っている場合は、同様の操作について記載している項目をコンボボックスより選択し、操作が異なる箇所のみ記載する。（同様の操作を行っている箇所については、記載を省略してもよい）。 分析結果報告書 [1] の < ICP 発光分光分析法 > を参照にして記入する。
< ICP 質量分析法 >	他の分析項目（鉛、亜鉛）と同様の操作を行っている場合は、同様の操作について記載している項目をコンボボックスより選択し、操作が異なる箇所のみ記載する。（同様の操作を行っている箇所については、記載を省略してもよい）。 分析結果報告書 [1] の < ICP 質量分析法 > を参照にして記入する。
< 吸光光度法 > 前処理後の溶液の分取量 測定波長	数値(半角)入力。単位：mL。 数値(半角)入力。単位：nm。
< 検量線の作成等 >	分析結果報告書 [1] の < 検量線の作成等 > を参照にして記入する。
分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点	150 文字以内で簡潔に記入する。
計算式	150 文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。

4 - 4 分析結果報告書 [4]

廃棄物（ばいじん）試料に関する分析結果報告書 [4] の入力方法の詳細を記します。

表4-4 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：亜鉛）（分析結果報告書 [4] ）

表4-4(1)分析結果

表 4-1(1)分析結果（鉛）を参考に記入する。

表4-4(2) 検液（溶出液）の作成

表 4-1(2) 検液（溶出液）の作成（鉛）を参考に記入する。

表4-4(3) 検定の方法（各項目の分析方法）

表 4-3(3) 検定の方法（各項目の分析方法）（銅）を参考に記入する。

4 - 5 分析結果報告書 [5]

模擬水質試料に関する分析結果報告書 [5] の入力方法の詳細を記します。

ふたつの方法で分析した場合には、ひとつの方法を分析結果報告書 [5] に記入し、他方はこの分析結

果報告書〔6〕に記入する。（ひとつの方法で分析した場合には、分析結果報告書〔5〕に記入し、この分析結果報告書〔6〕は記入しない。）

分析方法（パージ・トラップ、ヘッドスペース、溶媒抽出、固相抽出）により、記入の必要な箇所が異なるため、該当する箇所に記入する。

表4-5 模擬水質試料（ジクロロメタン、トリクロロエレン、1,4-ジメチルベンゼン）（分析結果報告書〔5〕）

測定回数	1～5の整数(半角)入力。分析用試料のはかり取りからGC/MSの測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入。
分析結果	実施要領5(2)の分析結果の表示方法に従って、分析用試料1 Lあたりのジクロロメタン又はトリクロロエレン又は1,4-ジメチルベンゼンのmg (mg/L) (単位: mg/L)。数値(半角)入力。 なお、ふたつの方法で分析した場合には、ひとつの方法をこの分析結果報告書〔5〕に記入し、他方はこの分析結果報告書〔5〕に記入しない(他方は分析結果報告書〔6〕に記入する)。 分析を実施した項目については、コンボボックスより「1.実施」を選択し、「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。分析を実施しない項目については、「2.実施せず」を選択。
・分析結果(検出下限値以上)(検出下限未満での検出下限の値)	検出下限値以上では、JIS Z 8401によって数値を丸めて分析結果を有効数字3桁で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。	分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値)は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。
<分析方法等> 分析開始月日 分析終了月日 分析方法 使用した水	コンボボックスより選択。分析開始日は分析(前処理操作を含む)を開始した日。分析終了日は定量操作を完了した日。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
<パージ・トラップ条件:ジクロロメタン> 試料量 パージ・トラップ装置 パージ管 パージ条件 流量・時間 トラップ管の充填剤 トラップ条件 クワイアフォーカスの使用 ドライパージ条件 流量・時間	複数回の測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する。ただし、試料量、指示値等については、測定回数分を記入する。 数値(半角)入力。単位: mL。 具体的に記入。 具体的に記入。 数値(半角)入力。単位: mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に数値(半角)入力。単位: 。 数値(半角)入力。単位: mL/分、分。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位: 、分。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位: mL/分、分。

< GC/FID、GC/ECD、GC/MS >		
GC	型式	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
GC	検出器	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	検出器温度	数値(半角)入力。単位： 。
MS	型式	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	装置型式	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	イオン検出法	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	測定時の分解能	数値(半角)入力。
	イオン化 方法	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	電圧	数値(半角)入力。単位：V。
	電流	数値(半角)入力。単位：μA。
	イオン源温度	数値(半角)入力。単位： 。
カラム	型式	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	内径	数値(半角)入力。単位：mm。
	長さ	数値(半角)入力。単位：m。
	膜厚	数値(半角)入力。単位：μm。
昇温条件		温度()、温度保持(分)、昇温速度(/分)、昇温回数(回)とも数値(半角)入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。
注入条件	注入口温度	数値(半角)入力。
	注入方式	数値(半角)入力。単位： 。
制御モード		コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
キャリアガス条件	種類	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	流量	数値(半角)入力。単位：コンボボックスより選択。
	圧力	数値(半角)入力。単位：コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
メイクアップガス条件	種類	キャリアガスと同様。
	流量	
	圧力	
< 定量用質量数及び確認用質量数 >		
定量用質量数		コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
確認用質量数		コンボボックスより選択。()は具体的に記入。

< 検量線の作成等：ジクロロメタン >		
定量方法		コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
内標準物質	使用の有無	コンボボックスより選択。
	添加物質	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	溶媒	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	添加方法	コンボボックスより選択。
	添加量	数値(半角)入力。単位：μg/mL、μL/バール。
外標準物質	使用の有無	コンボボックスより選択。
	添加物質	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	添加量	数値(半角)入力。単位：ng。
	回収率	数値(半角)入力。単位：%。
検量線	作成点数	数値(半角)入力。整数。
	作成範囲	数値(半角)入力。 作成範囲の単位：コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
試料の指示値	最高濃度の指示値	数値(半角)入力。「検量線最高濃度の指示値」、「試料の指示値」、「空試験の指示値」とも同じ単位で記入。「試料の指示値」については、測定回数分記入する。
空試験の指示値		
< 検量線の作成等 >		ジクロロメタンと同様に記入する。
トリクロロエチレン		ジクロロメタンの測定条件との違いがない(同じ条件で測定する)場合には記載しなくてよい。
1,4-ジメチル		
< 検出下限 >		
装置		数値(半角)入力。単位：ng。
試料		数値(半角)入力。単位：mg/L。
< 試料の保存状況 >		
保存状況	保存方法等	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
	保存時間	数値(半角)入力。単位：時間。
	保存温度	数値(半角)入力。単位：
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点		150文字以内で簡潔に記入する。
計算式		150文字以内で簡潔に記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記入する。

4 - 6 分析結果報告書 [6]

模擬水質試料に関する分析結果報告書 [6] の入力方法の詳細を記します。

ふたつの方法で分析した場合には、ひとつの方法を分析結果報告書 [5] に記入し、他方はこの分析結果報告書 [6] に記入する。(ひとつの方法で分析した場合には、分析結果報告書 [5] に記入し、この分析結果報告書 [6] は記入しない。)

分析方法(パージ・トラップ、ヘッドスペース、溶媒抽出、固相抽出)により、記入の必要な箇所が異なるため、該当する箇所に記入する。

表4-6 模擬水質試料(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジメチル)(分析結果報告書 [6])

表4-5 模擬水質試料(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジメチル)(分析結果報告書 [5])と同様であり、省略。

4 - 7 分析結果報告書 [7]

底質試料に関する分析結果報告書 [7] の入力方法の詳細を記します。

この分析結果報告書には、底質調査測定マニュアルによる方法の結果について記入する。なお、底質調査測定マニュアルによる方法以外の方法については分析結果報告書 [8] に記入する。

表4-7 底質試料(ダイオキシン類) (「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する方法) (分析結果報告書 [7])

測定回数	1～5の整数(半角)入力。分析用試料のはかり取りからGC/MSの測定までの一連の操作を行った回数(併行測定の回数)を記入。
分析結果	実施要領5(2)の分析結果の表示方法に従って、底質試料1gあたりのpg(単位:pg/g)。数値(半角)入力。 「定量下限値以上」、「検出下限～定量下限」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。
・分析結果(定量下限値以上) (検出下限～定量下限) (検出下限未満での検出下限の値)	定量下限値以上では、有効数字2桁(有効数字3桁目を四捨五入)で記入。 検出下限以上定量下限値未満では、有効数字2桁(有効数字3桁目を四捨五入)で記入。 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。
(注)分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果(定量下限値以上、検出下限以上定量下限未満の値または検出下限未満での検出下限の値)」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。検出下限、定量下限とは、試料における検出下限、定量下限値を示す。	
分析条件	(2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する)
<抽出> 試料のはかり取り量 ソックスレー抽出 方法 溶媒 抽出時間 溶媒量 ろ紙の種類 抽出液の濃縮 濃縮後の定容量(抽出液) クリーンアップ用の試料(抽出液の分取量) クリーンアップ剤の添加 添加箇所	数値(半角)入力。単位:g。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 トルエン 数値(半角)入力。単位:時間。 数値(半角)入力。単位:mL。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位:mL。 数値(半角)入力。単位:mL。()は具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。

<p><クリーンアップ></p> <p>硫酸処理 シカゲルコート 多層シカゲルコート</p> <p>その他の操作</p> <p>GC/MS分析用試料液の調製方法</p> <p>硫黄分除去の処理</p> <p>転用溶媒</p> <p>GC/MS 分析用試料液 PCDDs 及び PCDFs 用 DL-PCB用</p>	<p>すべての項目とも、コンボボックスより選択。</p> <p>すべての操作とも、コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>すべての操作とも、コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>数値(半角)入力。単位：μL。 GC/MS 分析用試料液の量であり、GC への注入量でないことに注意する。</p>
<p><GC/MS></p> <p>対応物質 PCDDs 及び PCDFs DL-PCB</p>	<p>(対応物質ごとにGC/MS 1~5に記入する) チェックボックスにチェック。分析対象とした塩素化物を選択。</p>
<p>GC 型式</p> <p>カラム 型式 内径 長さ 膜厚</p> <p>昇温条件</p> <p>注入 量 注入口温度 注入方式</p> <p>キャリアガス 流量 圧力</p> <p>MS 型式</p> <p>測定時の分解能</p> <p>イオン化 方法 電圧 電流 イオン源温度</p>	<p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>数値(半角)入力。単位：mm。</p> <p>数値(半角)入力。単位：m。</p> <p>数値(半角)入力。単位：μm。</p> <p>温度()、温度保持(分)、昇温速度(/分)、昇温回数(回)とも数値(半角)入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。</p> <p>数値(半角)入力。単位：GCへの注入量(μL)を記入。</p> <p>数値(半角)入力。単位： 。</p> <p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>数値(半角)入力。単位：mL/分。</p> <p>数値(半角)入力。単位：コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択</p> <p>コンボボックスより選択。()は具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>数値(半角)入力。単位： 。</p>

<p>< 検量線の作成 > 検量線 PCDDs及びPCDFs 作成点数 作成範囲（濃度） 繰り返し数 DL-PCB 作成点数 作成範囲（濃度） 繰り返し数</p>	<p>数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。GCに注入する標準液の濃度(ng/mL)を記入。「ゼロ(0)」は含めず、異性体で異なる場合には最小値を記入。 数値（半角）入力。整数。 PCDDs及びPCDFsと同様に記入。</p>
<p>標準物質（液） PCDDs 及び PCDFs 製造メーカー 開封後の月数 DL-PCB 製造メーカー 開封後の月数 標準液の保存容器 装置安定性 感度変動 保持時間変動</p>	<p>> コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。整数。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。整数。 コンボボックスより選択。()は具体的に記入。 数値(半角)入力。単位：％。 数値(半角)入力。単位：％。</p>
<p>< 異性体別のGC/MS測定条件及び分離定量(PCDDs及びPCDFs) > GC/MS分析条件 分離定量</p>	<p>異性体別に選択又は具体的に記入。 コンボボックスより選択。1～5のうち定量に使用した条件一つを選択する（分析条件 GC/MS 1～GC/MS5のいずれを選ぶ） コンボボックスより選択。分析条件（GCカラム等）から重なっている異性体があるときには「2」を選択する。 「2」を選んだ場合、重なっている異性体がわかっているときには具体的に記入。</p>
<p>< 内標準物質の添加量と回収率 > クリーンアップステップの添加量 クリーンアップステップの回収率 ソリジステップの添加量</p>	<p>使用した内標準物質に該当する欄に記入。「その他」の内標準物質を使用した場合には、具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：ng。 数値（半角）入力。単位：％。 数値（半角）入力。単位：ng。</p>
<p>< 空試験値及び相対感度係数 > 空試験値(操作プランク) 相対感度係数(RRFcs) 相対感度係数(RRFrs)</p>	<p>数値（半角）入力。試料中の濃度(pg/g)に換算した値で記入(分析結果と同じ単位とする)。<u>空試験値が検出されない場合には記入しない(空欄とする)。</u> 数値（半角）入力。2つのピーク(質量数)では平均値を記入。 数値（半角）入力。2つのピーク(質量数)では平均値を記入。</p>
<p>< 検出下限値 > 装置 試料における 試料測定時</p>	<p>数値（半角）入力。単位：pg。すべて有効数字1桁で記入。 数値（半角）入力。単位：pg/g。すべて有効数字1桁で記入。 数値（半角）入力。単位：pg/g。すべて有効数字1桁で記入。 「試料測定時の検出下限値」については、分析結果が検出下限未満であった場合に記入する。</p>

<測定質量数>	各塩素化物ごとに2つまでを選択(定量に用いた質量数を選択)。質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なっていることもあり、質量数0.01以下ではそのことを考慮して選択する(近い質量数を選択する)。「その他」を選んだ場合には、数値(半角)で具体的に記入。
分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	150文字以内で簡潔に記入する。

4 - 8 分析結果報告書 [8]

底質試料に関する分析結果報告書 [8] の入力方法の詳細を記します。

この分析結果報告書には、底質調査測定マニュアルによる方法以外の方法の結果を記入する。なお、底質調査測定マニュアルによる方法については分析結果報告書 [7] に記入する。

表4-8 底質試料(ダイオキシン類)(「底質のダイオキシン類簡易測定法マニュアル」に規定する方法)(分析結果報告書 [8])

表4-7 底質試料(ダイオキシン類)(「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する方法)(分析結果報告書 [7])を参考に記入する。	
<抽出：高圧流体抽出> 試料のはかり取り量 高圧流体抽出	数値(半角)入力。単位：g。 具体的に記入。
メーカー	具体的に記入。
型式	具体的に記入。
抽出容器の容量	数値(半角)入力。単位：mL。
溶媒の種類	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
溶媒の量	数値(半角)入力。単位：mL。
温度	数値(半角)入力。単位：。
加熱時間	数値(半角)入力。単位：分。
圧力	数値(半角)入力。単位：spi。
静置時間	数値(半角)入力。単位：時間。
抽出サイクル	数値(半角)入力。単位：回。
溶媒置換総量	数値(半角)入力。単位：%。
抽出液の濃縮	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。
濃縮後の定容量(抽出液)	数値(半角)入力。単位：mL。
クリーンアップ用の試料(抽出液の分取量)	数値(半角)入力。単位：mL。()は具体的に記入。
クリーンアップ剤の添加	コンボボックスより選択。
添加箇所	コンボボックスより選択。()は具体的に記入。

4 - 9 アンケート

ホームページによる分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

ホームページからの分析結果報告書の作成に関するアンケートについては、分析結果報告書メニュー(図4-8.1参照)の右の[アンケート]ボタンをクリックすると、アンケート内容が表示されます。

アンケートの内容は、試料ごと（3区分）になっています。

報告書一覧表				
	名称	入力状態	チャート状態	アンケート
<input checked="" type="radio"/>	報告書[1~4](共通)廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:検液(溶出液)の作成)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[1]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:鉛)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[2]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:六価クロム)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[3]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:銅)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[4]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:亜鉛)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[5]模擬水質試料(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[6]模擬水質試料(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン)	入力中	無し	アンケート
<input type="radio"/>	報告書[7]底質試料(ダイオキシン類) (「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」に規定する方法)	入力中	無し	
<input type="radio"/>	報告書[8]底質試料(ダイオキシン類) (「底質のダイオキシン類簡易測定法マニュアル」に規定する方法)	未入力	無し	アンケート
調査に関するアンケート		入力済		

図 4-8.1 分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

いずれの試料とも、質問はコンボボックスより選択します。「2」を選択した場合は（ ）内には具体的な理由又は内容を記入してください。「確定」等の操作は必要ありません。

分析結果報告書の作成時に感じた点等	1. 良い 2. 改良すべき点、問題点等がある 内容（ ）
-------------------	----------------------------------

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケート

環境測定分析統一精度管理調査に関するアンケートについては、分析結果報告書メニュー(図4-8.2参照)の下部[調査に関するアンケート]ボタンをクリックすると、アンケート内容が表示されます。

質問はコンボボックスより選択し、()内には具体的に記入してください。

アンケートは、各機関ひとつの回答となります(試料ごとの回答ではありません)。

「入力状態」については、質問の回答途中では「入力中」、回答が済みましたら「入力済み」と表示されます。「確定」等の操作は必要ありません。

報告書一覧表				
名称	入力状態	チャート状態	アンケート	
報告書[1~4](共通)廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:検液(溶出液)の作成)	入力中	無し		
報告書[1]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:鉛)	入力中	無し		
報告書[2]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:六価クロム)	入力中	無し	アンケート	
報告書[3]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:銅)	入力中	無し		
報告書[4]廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:亜鉛)	入力中	無し		
報告書[5]模擬水質試料(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン)	入力中	無し	アンケート	
報告書[6]模擬水質試料(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン)	入力中	無し		
報告書[7]底質試料(ダイオキシン類) ([ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル]に規定する方法)	入力中	無し	アンケート	
報告書[8]底質試料(ダイオキシン類) ([底質のダイオキシン類簡易測定法マニュアル]に規定する方法)	未入力	無し		
調査に関するアンケート				入力済

図 4-8.2 分析結果報告書の作成方法に関するアンケート

機関の区分 (ひとつを選択)	1. 地方公共団体 2. 民間分析機関(公益法人を含む) 3. その他()
アンケート回答者の担当 業務の区分 (ひとつを選択)	1. 環境測定分析業務の担当者 2. 環境測定分析業務の管理者 3. 環境測定分析委託業務の担当者(委託する側の担当者) 4. 環境測定分析委託業務の管理者(委託する側の管理者) 5. その他()
調査に参加する目的 (複数回答可)	1. 信頼性の確保、精度の確認等 2. 分析方法・分析技術・分析機器の確認・改善等 3. 外部精度管理として(入札に対応) 4. 外部精度管理として(ISOに対応等) 5. 他機関との比較・情報交換 6. 職員の教育等 7. その他()
調査の効果 (ひとつを選択)	1. 精度の確認が出きた(できる) 2. 分析技術の再確認、向上が出きた(できる)

	3.分析者の意識の向上、レベルアップとなった(なる) 4.問題点の検討、課題の確認ができた(できる) 5.他の機関の動向を知る、また比較ができた(できる) 6.顧客の信頼とPRになった(なる)(入札資格取得に利用等) 7.その他()
これから調査の必要性、あり方 (ひとつを選択)	1.このままの調査方法で継続する 2.改善等を行った方がよい。(改善点等:) 3.その他()
その他 (自由記載)	本調査に関する希望する事項があれば記入してください。 ()